

「地域と共に明日の吉井川を考える会」における
地域住民の意見集約結果及び、
「吉井川水系の川づくりに関するアンケート調査」の
結果について

平成 26 年 1 月

国土交通省 中国地方整備局

目 次

	頁
1．地域と共に明日の吉井川を考える会	1
(1) 開催概要	1
(2) 開催結果	2
(3) 意見の集約結果	3
2．吉井川水系の川づくりに関するアンケート調査.....	11
(1) 実施概要	11
(2) 実施結果	13
(3) アンケート集計結果	15
1) アンケート集計結果	15
2) 自由意見	31

1. 地域と共に明日の吉井川を考える会

(1) 開催概要

平成 25 年 11 月～12 月にかけて、「地域と共に明日の吉井川を考える会」を 10 箇所（岡山市 5 箇所、瀬戸内市 2 箇所、赤磐市 1 箇所、備前市 1 箇所、和気町 1 箇所）で開催し、吉井川水系河川整備計画に関する説明会を実施しました。

開催場所、開催日は以下のとおりです。

会場	開催日
瀬戸内市保健福祉センター ゆめトピア長船	11 月 7 日（木）
和気町総合福祉センター	11 月 12 日（火）
岡山市山南公民館	11 月 14 日（木）
岡山市上南公民館	11 月 18 日（月）
瀬戸内市中央公民館	11 月 19 日（火）
岡山市万富公民館	11 月 25 日（月）
岡山市西大寺公民館	11 月 28 日（木）
岡山市上道公民館	12 月 2 日（月）
備前市西鶴山公民館	12 月 16 日（月）
赤磐市くまやまふれあいセンター	12 月 19 日（木）



【開催場所 位置図】

(2) 開催結果

10 箇所で、合計 179 名の皆様にご参加いただきました。

また、多数の方々からご要望、ご意見をいただくことができました。

開催場所別の参加者数、発言者数は以下のとおりです。

回	月日	会場	参加者数(人)			発言者数(人)
			地域住民	県・市・町	報道関係	
	11月7日(木)	瀬戸内市保健福祉センター ゆめトピア長船	8	1	2	5
	11月12日(火)	和気町総合福祉センター	10	5	0	6
	11月14日(木)	岡山市山南公民館	7	2	0	4
	11月18日(月)	岡山市上南公民館	17	1	0	4
	11月19日(火)	瀬戸内市中央公民館	7	1	0	6
	11月25日(月)	岡山市万富公民館	14	2	0	4
	11月28日(木)	岡山市西大寺公民館	42	1	0	7
	12月2日(月)	岡山市上道公民館	30	0	0	3
	12月16日(月)	備前市西鶴山公民館	9	3	0	2
	12月19日(木)	赤磐市くまやまふれあいセンター	16	1	0	8
合 計			160	17	2	49

(3) 意見の集約結果

次頁以降に地域住民意見の集約結果を示す。

10 箇所の説明会の結果、各地域で地域特性が明確となっているため、治水・利水・環境に分類すると共に、各地域に分類して整理した。

治水

《吉井川中上流域》

- ・ 当該区間では、流下能力不足区間が点在しているが、主として、各地域で以下の意見が挙げられている。

熊山、万富：旧堤撤去による流下能力向上

和気、熊山、万富：各地先の堤防整備

《吉井川中流域左岸：瀬戸内市(長船,瀬戸内)》

- ・ 支川の千町川、干田川では、昭和 51 年、平成 2 年など、内水被害を受けた地域であり、内水対策に関する意見が挙げられている。

《吉井川下流域：河口付近》

- ・ 当該区間では、現在、高潮対策を実施中であるが、高潮・津波・耐震対策の早期実現要望が挙げられている。(上南、山南、西大寺)

《全般》

- ・ 全体として、治水対策の実施時期、優先順位など、事業工程の要望(早期に事業実施してほしい)が多く挙げられている。

利水

《新田原井堰(農林水産省) 坂根堰(国土交通省)》

- ・ 新田原井堰の田原用水(和気)、坂根堰の大用水(西鶴山、瀬戸内)における農業用水の安定取水に関する要望(作付期間の早期化や河川水位の確保など)が挙げられている。

環境

- ・ 環境へのご意見は少ないが、動植物への配慮、河川空間利用、水質に対する要望が挙げられている。

維持管理

- ・ 施設管理(苫田ダムの運用・効果、新田原井堰、坂根堰、排水ポンプ施設の維持管理)に関する要望が挙げられている。
- ・ 樹木管理、土砂管理などの要望の他、不法投棄に対する要望等が多く挙げられている。

【地域住民の意見、要望一覧表】		
分類	項目	公民館
治水	・ 治水全般	上南, 西大寺
	・ 高水流量	長船, 和気, 西鶴山, 熊山
	・ 堤防整備	和気, 万富, 西大寺, 熊山
	・ 旧堤撤去	万富, 熊山
	・ 内水対策	長船, 瀬戸内
	・ 高潮、津波、耐震対策	山南, 上南, 瀬戸内, 西大寺
	・ 事業工程	山南, 上南, 万富, 西大寺 上道, 熊山
	・ 堤外民地	和気, 万富, 西大寺, 上道
	・ 避難施設	山南, 上南
	・ 河川工事	和気
	・ 県管理区間の整備	西大寺, 熊山
利水	・ 農業用水	山南, 瀬戸内, 西鶴山
	・ 水道用水	瀬戸内
	・ 発電	熊山
	・ 河川空間利用	熊山
河川環境	・ 動植物	瀬戸内
	・ 河川空間利用	熊山
	・ 水質	長船、熊山
	・ 堤外民地環境	西大寺
	・ 環境全般	熊山
維持管理	・ 施設管理(坂根堰,新田原井堰,鴨越堰,内水ポンプ,吉井堰,苫田ダム)	長船, 和気, 瀬戸内, 万富 上道, 西鶴山, 熊山
	・ 施設管理(河川公園)	和気
	・ 樹木管理	和気, 上道
	・ 土砂管理	上南
	・ 不法投棄、ごみ対策、除草	長船, 上道, 熊山
	・ 地域連携	長船
	・ 児島湾浚渫	山南
	・ 堤防、道路管理	瀬戸内, 万富
	・ 県管理区間の管理	上南
	・ 水環境(赤潮)	西大寺
	・ 意見聴取	和気, 山南, 瀬戸内, 西大寺
	・ 学識委員会	上南
	・ 県・市との連携	山南, 瀬戸内
その他	・ 整備計画全般	上道

瀬戸内：瀬戸内市中央公民館

長船：ゆめトピア長船

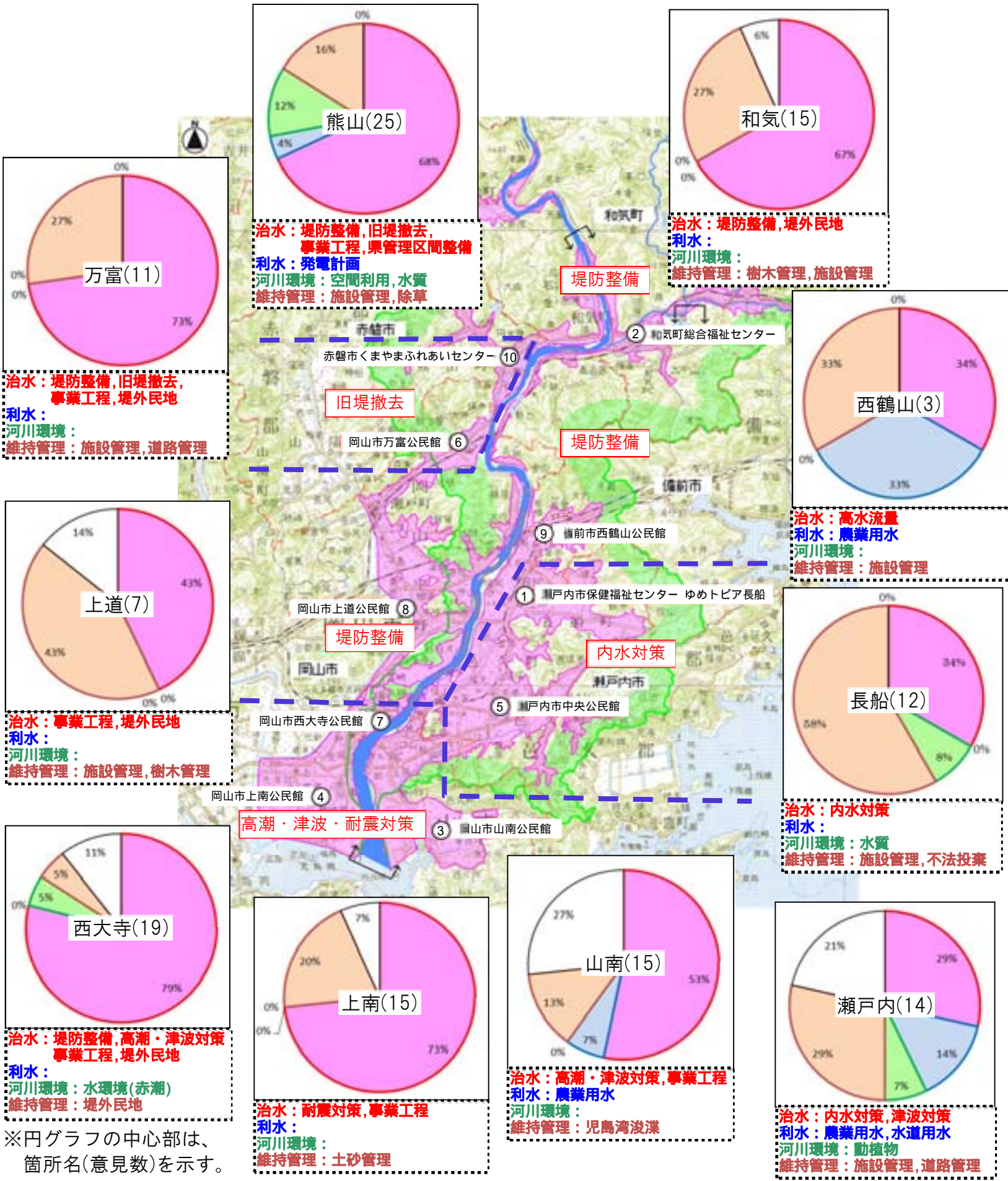
和気：和気町総合福祉センター

熊山：くまやまふれあいセンター

その他：公民館名

グラフの凡例

- 治水
- 利水
- 環境
- 維持管理
- その他



【住民要望の総括図】(治水, 利水, 河川環境, 維持管理)

【住民意見一覧表(1/6)】

場所	意見・要望等	分類
長船 (11月7日開催)	・基本高水 11,000m ³ /s に対して 8,000m ³ /s が計画高水であり、3,000m ³ /s が調節できるのか。	治水 (高水流量)
	・備前大橋付近で最も多くの流量が発生したのはいつなのか。	
	・長船地区は内水被害が多く、排水機場を設置しているが、十分でないと考えている。豆田を 30m ³ /s 50m ³ /s の要望を出しているが、どのように考えているのか。	治水 (内水対策)
	・香登川の水が干田川で合流した地点で逆流してくるので、排水不良となる。ポンプ増強をお願いしたい。	
	・ダムの下の方の水を放流する場合は、ダムの中段から空気と合せて放流するなどしてほしい。	環境 (水質)
	・今回、水位が急激に上がったため、坂根堰のゲートが全開になっていたの、坂根堰管理事務所で聞いたが、そのような数値ではなかったと記憶している。	維持管理 (施設管理)
	・ポンプ場の点検は誰がやっているのか。以前、電気系統の故障でポンプが稼動しなかった。しっかり管理すべきではないか。	
	・苫田ダムの利水放流はどこからしているのか。	
	・備前大橋から上流の樹林化している箇所では不法投棄の場所となっている。昨年より、この箇所で火事が多くなっている。	維持管理 (不法投棄)
	・看板が立っていてもトラックが横付けして捨てている。看板も抑制にならないし、警察も取り締まれない。火事についても、雑草が燃えているので、燃やしてしまえば良いのでは。	
	・備前大橋下流のゴルフ場の不法投棄もあるのではないかと。産業廃棄物になるため、しっかり取り締まるべきである。占有している業者がしっかりしないと、住民も捨てるようになる。	
	・維持管理面で地域との連携が多く詠われているが、しっかりと、地域との連携を行ってほしい。	維持管理 (地域連携)
和気 (11月12日開催)	・社会資本整備審議会では水系全体(津山も含めて)で議論されているのか。県との連携はどのようになっているのか。	治水 (高水流量)
	・11,000m ³ /s 7,500m ³ /s を 8,000m ³ /s に変更した理由は何か。元々、3,500m ³ /s 苫田ダムで調節すると聞いていた。	
	・計画が 7,500m ³ /s から 8,000m ³ /s とした場合、新田原井堰の強度、構造的なものは問題ないのか。岡山県は知っているのか。	
	・新田原井堰下流右岸の和気橋上流 2km が暫定堤防と聞いているが、左岸 374 号が整備されているが、同様の高さにならないか。	治水 (堤防整備)
	・整備計画に新田原井堰下流右岸の堤防整備を入れてほしい。	
	・新田原井堰下流右岸の 400m は左岸嵩上げの際に確認書が交わされたはずである。その確認書では整備計画調査が終了次第、対応するとなっていたと思うが、20～30 年時間がかかるのか。早期の実現をお願いしたい。	
	・新田原井堰下流 400m は一時も早く対応してほしい。	
	・河川整備は下流からが基本となるが、左右岸バランスを考えるのも基本であるが、合併条件(和気町、佐伯町)の中に 374 号整備と同時に右岸整備もすることを国、県、地元で整理していると思うが、どうなっているのか。	
	・堤防内の水田(堤外民地)は流下能力に含まれているのか。堤外民地を買い上げるという考えはないか。	治水 (堤外民地)
	・新田原井堰の下流側を掘り下げると聞いているが、工事のダンプの騒音がすごいものがある。もう少し考えてほしい。	治水 (河川工事)

【住民意見一覧表(2/6)】

場所	意見・要望等	分類
和気 (11月12日開催)	・吉井川の整備計画はできていないのか。現在行われている伐採は、平成21年の計画で実施していると思っていた。	維持管理 (樹木管理)
	・新田原井堰を全開にした場合に、その後、田原用水になかなか水が乗らない。段差があるのではないのか。	維持管理 (施設管理)
	・新田原井堰全開後、4日間ぐらいいは水が乗らない。この4日間は厳しい。岡山県に聞くと、国が定めたことだということで、確認してほしい。	
	・和気の和文字焼き会場前の河川公園の水路が現在機能していない。ここで行われるイベントができない状態であるため、維持管理をしっかりしてほしい。	維持管理 (河川公園)
	・地元住民のより多くの意見を聞き、理解を得る為、身近な地域での開催を求む。(意見シート)	その他 (意見聴取)
山南 (11月14日開催)	・高潮対策、津波対策を行っているが、本地区は360軒がゼロメートル地帯である。しかも軟弱地盤である。防災対策として、防災ビル等の建設はできないものか。	治水 (避難施設)
	・吉井川下流部の防災として、高潮、津波対策として堤防整備と同時に避難ビルの設置を急いでほしい。(意見シート)	治水 (高潮・津波対策)
	・特に児島湾に泥が堆積しており、津波の際に危険だと思う。	
	・吉井川の堤防対策を行っているが、水門湾から千町川へ逆流してくると思うが、対策はどうなっているか。	
	・高潮や津波に関して、不安を抱いている。最近の災害は想定以上となるが、計画をどのように想定しているのか。また、どの時期に整備するのか、段階的なものを住民に示してほしい。	
	・整備計画策定前に、必要な箇所の暫定整備ができないのか。	
	・住民に事業内容を示してもらえないのか。耐震対策を行っているなどの情報は住民に示してもらえるのか。	治水 (事業工程)
	・単年度ではなく、2～3年後も示せないか。住民は不安に思っていることもあるので、できるだけ示してもらいたい。	
	・農業で水稻の作付け時期が早まっているため、その辺りに配慮した計画をしてほしい。	利水 (農業用水)
	・吉井川や児島湾の河床に土砂が堆積していると思うが、川の能力が低下しているのではないのか。浚渫を行ってほしい。	維持管理 (児島湾浚渫)
	・児島湾では1,680万m ³ の泥が堆積している。これらの堆積物を浚渫すれば、住民も安心すると思う。国が中心に県・市と共同して実施してほしい。	
	・20～30年後の計画を策定することに対し、国土交通省がビジョンを持っていると思うが、それを説明してほしい。	その他 (意見聴取)
	・アンケートはもう少し回収率が上がる対策を行うべきである。	
	・市と県の担当とはいえ、補助を出すのは国であるため、その辺りは真摯に考えてほしい。	その他 (県、市との連携)
	・管理をしている場所が違うと思うが、横の情報交換をして、総合的な取り組みにしてほしい。(意見シート)	
上南 (11月18日開催)	・上南地域でどのような整備を行うかという具体的な整備内容がないと思うが、どうするつもりなのか。	治水 (全般)
	・想定氾濫区域の境目はどこか。砂川、百間川まで想定氾濫区域が行くのであれば、そこまで考えた整備内容にしてほしい。	治水 (事業工程)
	・整備計画が何時ごろできるのか。早くするべきである。	
	・高梁川と吉井川では優先度が異なるはずである。	

【住民意見一覧表(3/6)】

場所	意見・要望等	分類
上南 (11月18日開催)	・現在の避難訓練は、地震や津波であり、洪水の優先度は低い。地域では危機感を持って、避難訓練を行っている。地元住民は災害対策に関心を持っているため、国、県、市がスクラム組んでやってほしい。	治水 (事業工程)
	・整備計画を20～30年で考えるのは遅いのではないか。課題を考えると早急に改修が必要な河川であると思う。	
	・堤防より高い地盤の避難場所が全くない。人工的にそのような避難場所を設置すべきではないか。	治水 (避難施設)
	・耐震対策はどのような震度のものを対象にしているのか。	治水 (耐震対策)
	・大学の先生の意見では、軟弱地盤の堤防は崩れるとの意見があった。我々が納得できる耐震対策の考え方を示してほしい。	
	・矢板を整備しているが、支持層まで整備できていないのではないか。先生が指摘しているのもその辺りである。	
	・九番の漁港の箇所は危険だと思う。どこまで国なのか。	維持管理 (土砂管理)
	・洪水時に土砂流出があり、それは、下流に堆積すると思うが、その対策はどのようにしているのか。	
	・上流が流れるようになったら、下流で土砂が溜まる事があるのでは。実際に河道形状や流れが変化していると思う。その辺りの管理をしっかりとしてほしい。	維持管理 (砂川の管理)
	・県に意見しても全く管理していない。百間川は管理しているが、砂川になると、全く管理していないように思う。しっかり、県に伝えてほしい。	
	・整備計画の審議をされた先生方はどのような方なのか。	その他 (学識委員会)
瀬戸内 (11月19日開催)	・千町川、千田川の浸水に関しては、吉井川の水位が高くなることにより、浸水が発生しているとの説明があったが、近年のゲリラ豪雨により、ポンプ能力が不足すると思うのだが、この辺りは含まれるのか。	治水 (内水対策)
	・千町川周辺に住んでいるが、降雨のたびに、いつもヒヤヒヤしている。特に、降雨が収まった後に水位が上がる傾向がある。上流ダム群も含め、有効に活用して、排水機場の有効活用もはっきりしてほしい。	
	・千町川、千田川の排水機場増設について、要望書が提出されているのはご存知か。また、このポンプ場の増設について、今後、どのように考えているのか。国と県どちらが先に動くのか。	
	・河川整備基本方針は東日本大震災以前の策定のため、津波に対する記載がないと思うが、どのように考えているのか。	治水 (津波対策)
	・邑久用水はポンプアップによって、畑かんなどに利用させて頂いている。耕地に対しても、稲作の時期も早くなっている。異常気象も多くなっているため、農業用水への安定供給について、苦田ダムの有効活用も含め、お願いしたい。	利水 (農業用水)
	・津波に関しては、高さが足りているとの説明があったが、鴨越堰は越えないのか。その場合に飲料水に影響しないのか。	利水 (水道用水)
	・アユモドキが生息している香登川の整備が進まない。この汚い河川で喜んで住んでいるのか。住みやすい河川にしてほしい。	環境 (動植物)
	・上流の降雨によって、坂根堰でサイレン等が鳴ることがあるが、その後、河川敷に水位が上がるまでどの程度時間がかかるのか。	維持管理 (施設管理)
	・サイレンが鳴るまでは安全だと思ってよいのか。	
	・近年、道路では死亡事故が多く発生している。堤防上(道路)の除草など、管理はどのようにしているのか。	維持管理 (堤防・道路管理)
	・交通事故のない道路にしてほしい。県との返事をほしい。 (意見シート)	

【住民意見一覧表(4/6)】

場所	意見・要望等	分類
瀬戸内 (11月19日開催)	・スケジュールの中に、市長の意見は聞くことになっているが、国・県・市の現場の技術者が話をすれば、スムーズに話ができるのではないかと。	その他 (県、市との連携)
	・アンケート等を行うよりは、県や市に意見すれば、国に上がるシステムを構築すれば、より住民の意見が反映できる。	
	・国土交通省の事業について、住民が意見する機会がないと思うが、今後、どのように意見を伝えていくことができるのか。	その他 (意見聴取)
万富 (11月25日開催)	・整備計画を策定して、工事には何時入るのか。	治水 (事業工程)
	・住民の意見を十分に聞いて、整備計画を策定して頂きたい。	治水 (旧堤撤去)
	・旧堤防は撤去するのか。	
	・河川内の土砂や樹木の状況によって、川の流れが変わると思うが、その対策を行った場合に、堤防に影響があるのではないかと。	治水 (堤防整備)
	・JRから弓削橋まで、堤防がないと思うのだが、旧堤を撤去することで影響はないのか。護岸も何もないために、侵食が激しくなる。堤防の対策を実施してほしい。	
	・旧堤防の撤去の話があったが、万富地域では、河川区域内で土砂を放置したり、ハウスを用いて、野菜の栽培をしたりしているが、洪水時に問題にならないのか。(大曲のところ)	治水 (堤外民地)
	・民地については、河川法が適用されないのか。	
	・建物がある場合や土砂がある場合は違反になるのではないかと。	
	・堤防と道路の関係を教えてほしい。弓削橋から道路をダンプが入る。また、備前大橋まで1車線でダンプが通るため、離合できないが、対策ができないのか。	維持管理 (堤防・道路管理)
	・鴨越堰、坂根堰、新田原井堰を一体に管理して、洪水が支流へ逆流しないように調整してもらいたい。	維持管理 (施設管理)
西大寺 (11月28日開催)	・弓削のポンプ場の老朽化が激しいが、国で対応できないのか。	治水 (事業工程)
	・既往の災害を踏まえた計画は良いと思うが、東南海地震の対応はすべきである。20～30年ではなく、5～10年の対策を考えてほしい。	
	・整備計画は国、県、市が一体となって、行うべきであり、整備区間、整備内容を示して、考える会を実施してほしい。	
	・西大寺は吉井川の町である。安全・安心・美しい町、美しい川であってほしい。(意見シート)	治水 (全般)
	・橋の下は西側の堤防は洪水時に漏水していると思っている。下流の数十mは改修されているが、橋の下はパラペットが陥没している。	治水 (堤防整備)
	・堤防の未整備区間が28%程度、堤防点検で14%安全でないといわれている。この対応は早急に行うべきだと考えている。	
	・下流が堤防未整備になっているが、これは本当か。	
	・計画高水流量の8,000m ³ /sが流れた場合、どの地点が危ないのかを教えてください。	
	・国が危険箇所をプレス発表しているが、現地調査では問題ないと言っているが、その辺の食い違いについて、説明してほしい。	
	・西大寺では高潮、津波の危機感が大きく、防災訓練を行っている我々にしっかり説明してほしい。	治水 (高潮、津波対策)
	・河川の中に民地が残っている箇所はどのようにしているのか。	治水 (堤外民地)
	・民地で竹やぶが残っており、平成10年10月でも浸水したが、流れを悪くしているのではないかと。	
	・永安橋の上流で水位が上がるのは、民地の竹やぶが影響している。	

【住民意見一覧表(5/6)】

場所	意見・要望等	分類
西大寺 (11月28日開催)	・想定外の被害が発生しているが、既往の洪水だけに対応したのでは、洪水から守れないのではないかと。砂川を一番心配している。	治水 (砂川の整備)
	・吉井川より砂川の堤防が気になる。早期の改修を実現してもらいたい。(意見シート)	
	・苫田ダムの計画でも意見してきたが、周匝から下流でも狭窄部がある。この辺りも考えて計画を策定してほしい。	治水 (指定区間管理)
	・堤内民地では、環境面でも鳥類が住みついて、異臭がしているのではないかと。	環境 (堤外民地)
	・赤潮問題は国、県、市とも連携して、しっかり管理すべきである。	維持管理 (水環境)
	・この説明会がどのような意味を持つのか、疑問に思う。	その他 (意見聴取)
	・岡山平野全体の河川についての説明をしてほしい。(意見シート)	
上道 (12月2日開催)	・7～10Kの間では民地が残っている箇所があり、近年、ブドウ畑も浸水した。水田もあったが、現在は牧草地帯になっている。	治水 (堤外民地)
	・旧堤防の土地は国土交通省の状況になっている。民地を買収してもらえないのか。上流の堰が放流すれば、すぐに浸水してしまう。	
	・高潮の関係の整備を行っているが、津波と集中豪雨の優先度はどのように考えているのか。	治水 (事業工程)
	・樹林化している箇所は何時頃、伐採するのか。	維持管理 (樹木管理)
	・吉井堰付近(備前大橋上下流)の漏水問題がある。本年、ゴルフ場が浸水した際も長靴でなければ歩けない。これらの対策は行えないのか。特に吉井堰上流は住民が不安になっている。	維持管理 (施設管理)
	・河川関係は草刈を良く行って頂いている(道路はやらない)。備前大橋の下流に刈った草を堆肥化している。これは風向きによっては異臭がする。何か対策を行ってほしい。	維持管理 (除草)
	・20年、30年先の吉井川のあるべき姿を見据えた計画づくりである。近年の状況から、流域住民の生活を考え治水、利水、環境と幅広い角度からの検討が盛り込まれることを期待する。(意見シート)	その他 (全般)
西鶴山 (12月16日開催)	・既往洪水では概ね対応可能と考えているが、近年の集中豪雨を考えると、時間雨量100mmがどの程度まで対応できるのか。	治水 (高水流量)
	・農業用水の過剰取水があると聞いたことがあるが、その後、どのようになったかお教えいただきたい。	利水 (農業用水)
	・吉井堰は上水道の関係で、撤去することが難しいと聞いているが、土地改良区が維持管理を行っていると思う。維持管理費が多額になると思うのだが、今後、吉井堰はどのようにするのか。	維持管理 (施設管理)
熊山 (12月19日開催)	・近年のゲリラ豪雨への対応は計画に盛り込んでいるのか。	治水 (高水流量)
	・今回の整備で150年に1回の降雨に対応できるとあってよいのか。	
	・千駄地区(勢力地区)の堤防対策について、外水よりも内水の課題が大きいため、その対策を実施してほしい。	治水 (内水対策)
	・吉原と奥吉原の間に土砂が堆積しており、ゴルフ場もあるが良く浸水する。また、その場から1.5K上流の土砂(旧堤)を撤去すれば流れが良くなると聞いていたが、これも未だに堆積した状態である。内水の問題もあるので、早めに撤去してもらいたい。	治水 (旧堤撤去)
	・旧堤は未だに残っているため、洪水の際に水位が低下しない。また、山陽本線付近の州も影響していると思っている。早めに対応して頂きたい。何時頃対応するのか。	

【住民意見一覧表(6/6)】

場所	意見・要望等	分類
熊山 (12月19日開催)	・浸水想定区域図で小野田川付近は2～5mの浸水となっているが、この対策は何時頃、どのように実施するのか。	治水 (堤防整備)
	・流下能力でもこの地域はピンク色が多く、どのように改善していくのか、しっかり考えなければいけないと思う。	
	・全てが関わっているため、しっかり対応してほしい。	
	・堤防点検結果は同じように気になる。この地域は過去に堤防決壊を経験しているため、早めに対策を実施してほしい。	
	・整備する順序として、予算もあることは理解できるが、危険な箇所、または、地元要望を踏まえて、優先順位を考えるべきだと思う。	治水 (事業工程)
	・県道の嵩上げについて、市に要望を出しているが、なかなか良くならない。この件について、国は把握しているか。要望が国に挙がっているかわからない。このような説明会に市の方も出席すべきではないか。	治水 (県道嵩上げ)
	・上記の要望は必ず市や県は認識している。意見シートにも書いているため、確認してもらいたい。	
	・徳富地内の県道ヒオカ碎石場付近から瀬戸町のかけての県道において、大雨ですぐ浸水し通行不能となるため、県道のかさ上げを要望する。(意見シート)	
	・平成10年の吉井町の被害を受けたが、未だに対応できていない。県や国の人に状況を見に来てもらいたい。	治水 (激甚災害整備)
	・H10年の台風による吉井川の激甚災害の対策工事が未完成の箇所がある。場所は、吉井町稲蒔という所である。(意見シート)	
	・吉井川流域県管理区間内の赤磐市稲蒔高星神社取合い道路付近より南下流方向へ。治水設備コンクリート製樋門1か所(完成)、土盛り堤防(未完成)の現地視察をお願いしたい。(意見シート)	
	・被災地の意見を良く聞き、互いに話し合いする事が必要である。被災地で一番災害にあった方の話を聞くべきではないか。現場を再度現地に足を運んで見てほしい。(意見シート)	
	・将来の水利用について、原子力発電がなくなっていくことで、電力不足となっていくと思うが、吉井川の水も新田原井堰で発電しているように、発電の新規計画があるのか。	利水 (発電計画)
	・金剛川の水辺の楽校が良いと思ったが、現状で吉井川では子供が川辺に近づかない。このような整備をしてほしいと思っている。	環境 (空間利用)
	・熊山橋右岸上流で高水敷を整正されているが、どんどん広がってきている。環境面を考慮し、これ以上広げないよう考えてほしい。	環境 (全般)
	・水質について、朝方に白い泡が発生している。過去にその対策を行ってくれなかったが、その要望は知っているか。また、現在、対応できているのか。また、過去に、し尿処理施設からの汚水も吉井川に流出しており、市に連絡したが、何も対応されなかった。	環境 (水質)
	・苫田ダムの洪水調節は、29cmの水位低下では少ないと思っている。もっと、効果が発揮できるように運用してほしい。	維持管理 (施設管理)
	・洪水時には新田原井堰などは洪水を予測して早めにゲートを上げることで、水位が下がるのではないか。	
	・樹木伐採で樹木を業者が処分しているが、高水敷の雑草の処理してもらいたい。(ブルで踏むだけでも違うのではないか。)	維持管理 (除草)
	・河川側は草刈を年二回実施して頂いているが、県道側の草刈は国と県で共同して行えないのか。	

2. 吉井川水系の川づくりに関するアンケート調査

(1) 実施概要

吉井川水系の川づくりに関するアンケート調査概要は以下のとおりである。

項目	内 容
目的	吉井川水系(国管理区間)の現状と課題及び河川整備に対する広く積極的に意見を聴取
対象者	国管理区間の吉井川、金剛川において、洪水により河川の氾濫が生じたときに浸水が予想される区域を網羅する関係住民
実施期間	平成 25 年 10 月 20 日～11 月末日
配布資料	以下の資料をタブロイド版で作成し配布 ・河川の現状と課題を説明したリーフレット ・浸水想定区域図 ・アンケート票（郵便・FAX で回収）
配布方法	・新聞折込（岡山市・瀬戸内市・赤磐市・備前市・和気町） ・小学生学童を通じた保護者への配布（対象：岡山市・瀬戸内市・赤磐市・備前市・和気町の児童の保護者） ・公共機関・説明会会場に常設 岡山市：区役所、支所(1箇所)、公民館(6箇所) 瀬戸内市：市役所、支所(1箇所)、公民館(1箇所) 赤磐市：市役所、支所(1箇所)、公民館(1箇所) 備前市：市役所、公民館(1箇所) 和気町：役所、支所(1箇所)、公民館(1箇所) 岡山県：県庁、備前県民局東備支局 国土交通省：岡山河川事務所、西大寺出張所、吉井川上流出張所、坂根分室 ・事務所 H P
配布数	新聞折込：約 4 万 6 千部 小学校：約 6 千部

(2) 実施結果

アンケートは、回収数が 2,372 部、回収率は 4.6% である。

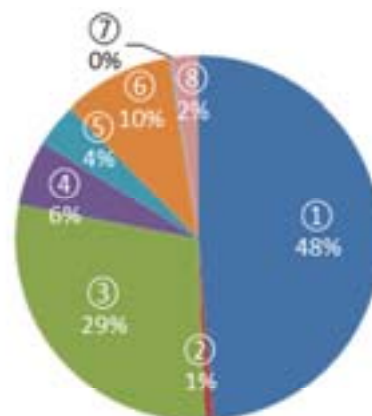
項 目	内 容
配布数	新聞折込：約 4 万 6 千部 小学校：約 6 千部
回収数(回収率)	2,372 部(回収率 4.6%) 郵送：904 小学校：1,468
有効回答数	2,372 部(自由意見 518)

回答者の性別、年齢、職業等の内訳は、以下のとおりである。

お住まい

【問 7-1】あなたがお住まいの市町について

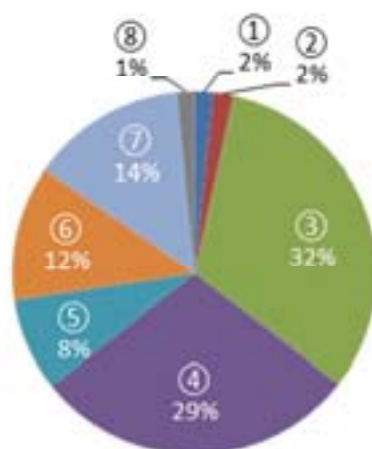
項目	回答者数	比率
岡山市東区	1,153	48%
岡山市北区・中区	19	1%
瀬戸内市	679	29%
備前市	138	6%
赤磐市	91	4%
和気郡和気町	232	10%
その他	6	0%
無回答	54	2%



年齢

【問 7-2】あなたの年齢について

項目	回答者数	比率
20 歳未満	39	2%
20 歳代	43	2%
30 歳代	760	32%
40 歳代	683	29%
50 歳代	197	8%
60 歳代	286	12%
70 歳代以上	327	14%
無回答	37	1%



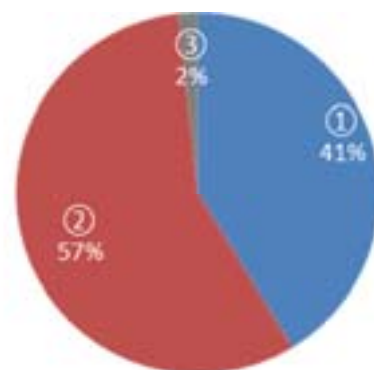
- ・ 30 歳代及び 40 歳代で全体の約 60% を占めている。
- ・ 20 歳未満及び 20 歳代が少ないが、概ね年齢層毎に 10% 程度以上の回答が得られている。

性別

【問 7-3】あなたの性別について

項目	回答者数	比率
男性	978	41%
女性	1,352	57%
無回答	42	2%

- ・ 男性と女性の比率は概ね 4 : 6 となっている。

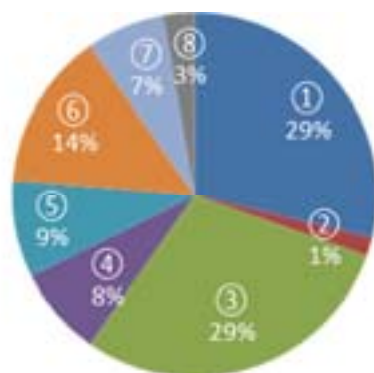


職業

【問 7-4】あなたの職業について

項目	回答者数	比率
家事従事者(主婦など)	683	29%
学生	39	1%
会社員	695	29%
公務員	187	8%
自営業	206	9%
無職	331	14%
その他	165	7%
無回答	66	3%

- ・ 主婦、会社員で全体の約 60%を占めている。
- ・ 他の類別も約 10%程度の回答が得られており、幅広く意見聴取ができてい
- る。



(3) アンケート集計結果

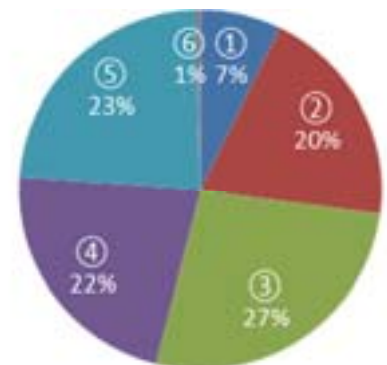
1) アンケート集計結果

洪水・高潮について

【問 1-1】現在の吉井川の洪水・高潮対策は十分だと思いますか。

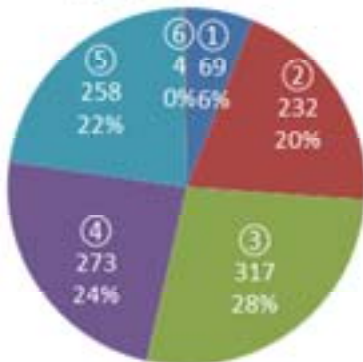
項目	回答者数	比率
思う	171	7%
やや思う	472	20%
あまり思わない	637	27%
思わない	526	22%
わからない	554	23%
無回答	12	1%

- ・「やや思う」も含め、現在の吉井川の対策が十分だと思われる方の割合は27%である。
- ・「あまり思わない」「思わない」と回答された方の割合は合わせて49%である。
- ・「わからない」との回答が23%である。
- ・「わからない」「無回答」の回答を除いた場合、「対策が十分」との回答と「十分ではない」との回答の比率は概ね1:2である。

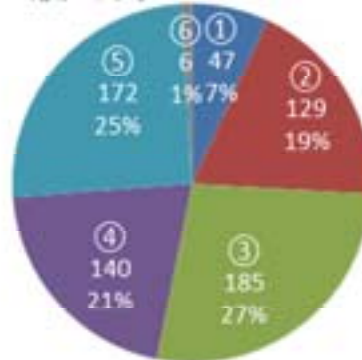


市町別内訳

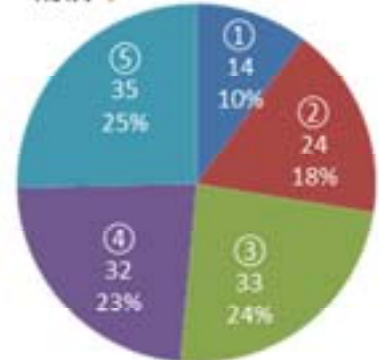
岡山市東区



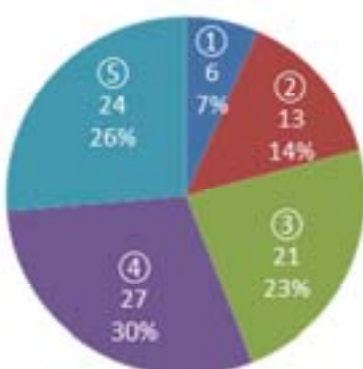
瀬戸内市



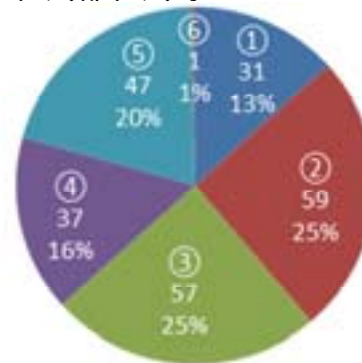
備前市



赤磐市



和気郡和気町



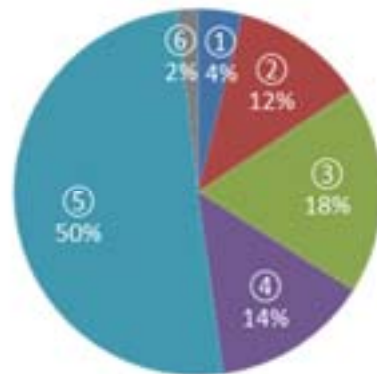
全体結果との比較

- ・グラフの比率構成は、岡山市、瀬戸内市、備前市は全体結果とほぼ同じ。
- ・赤磐市は十分と思われる方（③の合計）の比率が低く、和気町は高い。

【問 1-2】現在の金剛川の洪水対策は十分だと思いますか。

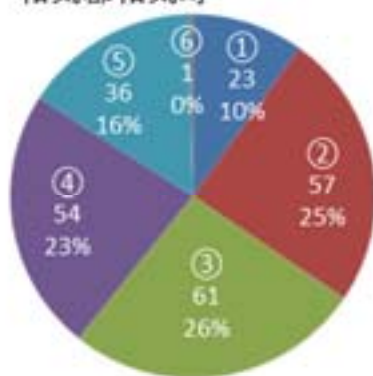
項目	回答者数	比率
思う	93	4%
やや思う	278	12%
あまり思わない	436	18%
思わない	326	14%
わからない	1,197	50%
無回答	42	2%

- ・「やや思う」も含め、現在の金剛川の対策が十分だと思われる方の割合は 16% である。
- ・「あまり思わない」「思わない」と回答された方の割合は合わせて 32% である。
- ・「わからない」との回答が 50% と多いのは、吉井川近辺にお住まいの方など、金剛川の状況を知らない方が多かったためと思われる。
- ・「わからない」「無回答」の回答を除いた場合、「対策が十分」との回答と「十分ではない」との回答の比率は概ね 1:2 である。



市町別内訳

和気郡和気町



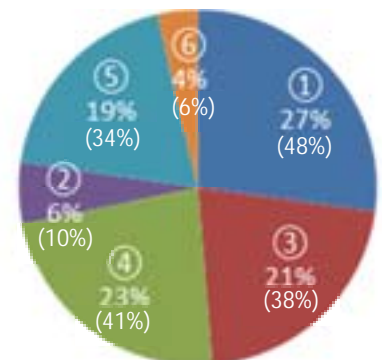
全体結果との比較

- ・ 50% あった「わからない」は 16% に減り、何らかの意見が示された結果となっている。意見は「十分」と「十分でない」双方の意見に分かれる形でそれぞれの回答比率は高くなっている。

【問 1-3】今後、吉井川の洪水・高潮対策として、どのような対策が必要だと思いますか。(複数回答あり)

項目	回答者数	比率
堤防を高くする、川底を掘るなどにより、洪水の際に川の水を安全に流す	1,137	27%
ダムなどにより、洪水の時に水を貯める	234	6%
河口部の堤防を高くして、高潮被害を防止する(吉井川のみ)	900	21%
洪水がきても堤防が壊れないよう、強化する	962	23%
排水ポンプ施設を設置して、低平地の浸水を防ぐ	797	19%
今のままでよい	153	4%

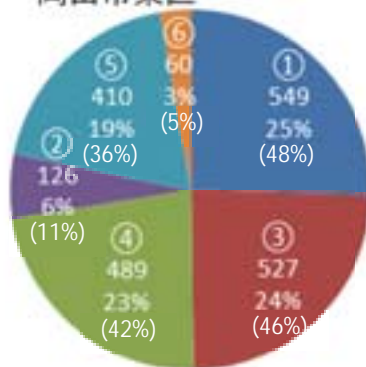
- ・ 「ダムにより、洪水の時に水を貯める」以外は同程度の回答割合である。
- ・ 約 70%の方が、築堤や河床掘削、堤防強化等の河道の改修が必要と回答している。
- ・ 有効回答数(2,372)に対する割合は「堤防を高くする、川底を掘る・・・」が 48%と最も多く、「洪水がきても壊れない・・・」が 41%で続く。
- ・ 「今のままでよい」と回答された方は 4%である。



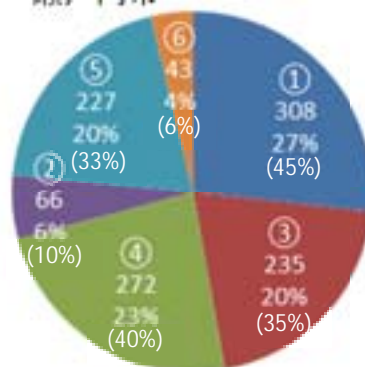
括弧書きは有効回答数 2,372 に対する比率

市町別内訳 (括弧書きは各市区町の有効回答数に対する比率)

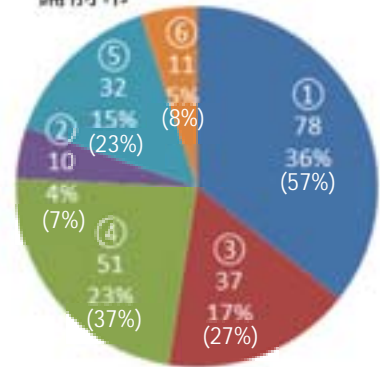
岡山市東区



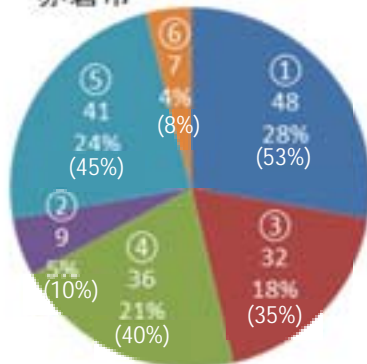
瀬戸内市



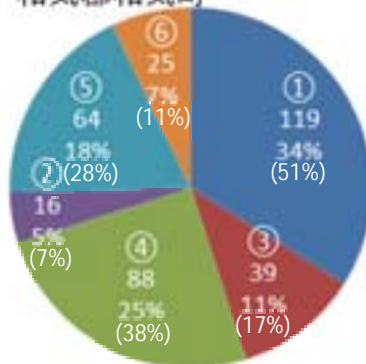
備前市



赤磐市



和気郡和気町



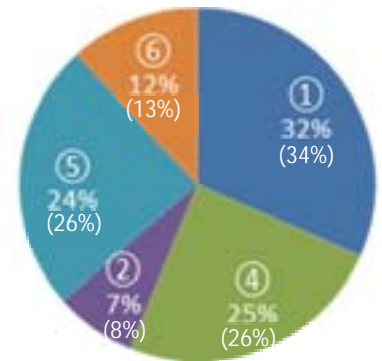
全体結果(有効回答数に対する比率)との比較

- ・ 「河口部の堤防を高くして高潮被害を防止」の回答比率が岡山市では高い。備前市、和気町では低い。
- ・ 備前市、赤磐市、和気町では「堤防を高くする、川底を掘る・・・」の回答比率が高い。

【問 1-3】今後、金剛川の洪水対策として、どのような対策が必要だと思いますか。
(複数回答あり)

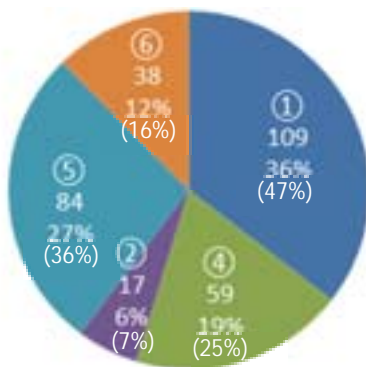
項目	回答者数	比率
堤防を高くする、川底を掘るなどにより、洪水の際に川の水を安全に流す	804	32%
ダムなどにより、洪水の時に水を貯める	187	7%
洪水がきても堤防が壊れないよう、強化する	624	25%
排水ポンプ施設を設置して、低平地の浸水を防ぐ	623	24%
今のままでよい	302	12%

- ・ 「ダムにより、洪水の時に水を貯める」以外は同程度の回答割合である。
- ・ 約 60%の方が、築堤や河床掘削、堤防強化等の河道の改修が必要と回答している。
- ・ 有効回答数(2,372)に対する割合は「堤防を高くする、川底を掘る・・・」が 34%と最も多く、「洪水がきても壊れない・・・」が 26%で続く。
- ・ 「今のままでよい」と回答された方は 12%である。



括弧書きは有効回答数 2,372 に対する比率

市町別内訳 (括弧書きは和気町の有効回答数に対する比率)
和気郡和気町



全体結果(有効回答数に対する比率)との比較

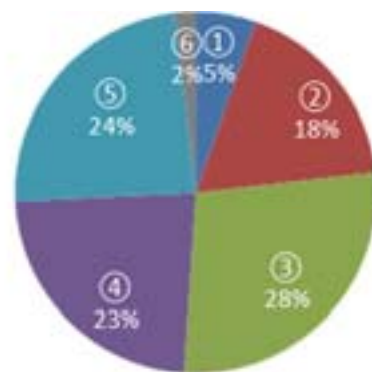
- ・ 「堤防を高くする、川底を掘るなどにより・・・」と「排水ポンプ施設を設置・・・」の回答比率が高い。

地震・津波について

【問 2-1】現在の吉井川・金剛川は地震・津波に対して安全な川だと思いますか。

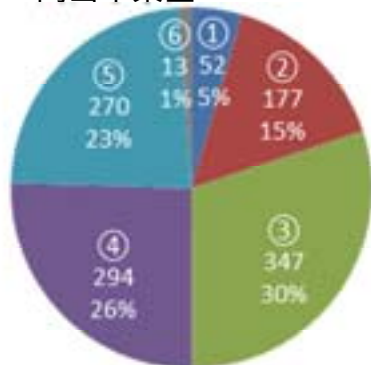
項目	回答者数	比率
そう思う	128	5%
ややそう思う	422	18%
あまり思わない	661	28%
そう思わない	550	23%
わからない	566	24%
無回答	45	2%

- ・「やや思う」も含め、現在の吉井川の対策が十分だと思われる方の割合は23%である。
- ・「あまり思わない」「思わない」と回答された方の割合は合わせて51%であり、地震・津波に対し不安を感じている。
- ・「わからない」との回答が24%である。
- ・「わからない」「無回答」の回答を除いた場合、「安全と思う」との回答と「安全と思わない」との回答の比率は概ね1:2である。

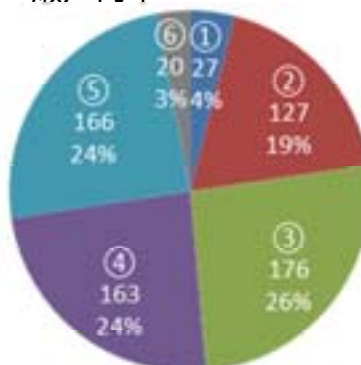


市町別内訳

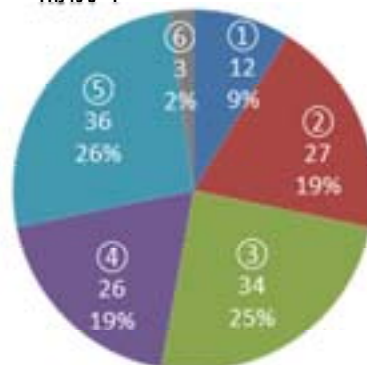
岡山市東区



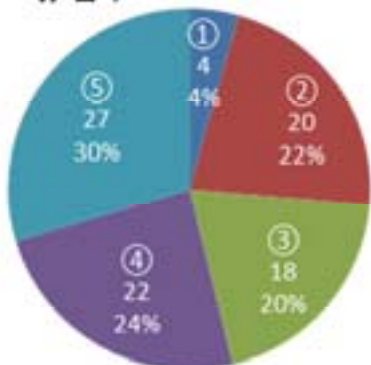
瀬戸内市



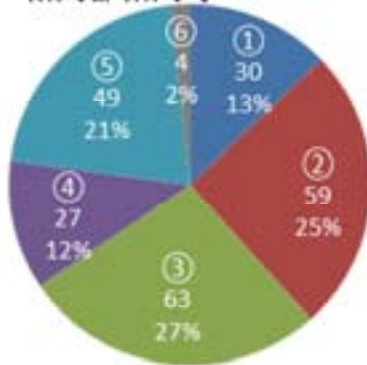
備前市



赤磐市



和気郡和気町



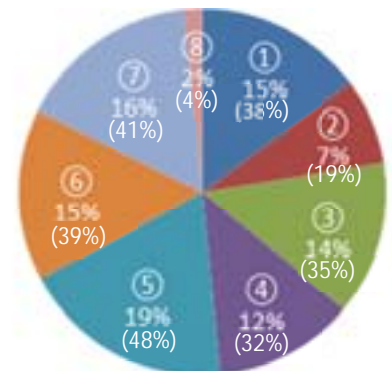
全体結果との比較

- ・中・上流部に位置する備前市、赤磐市、和気町では「そう思う」「ややそう思う」の回答比率が高くなり、特に最上流部の和気町ではその傾向が顕著である。

【問 2-2】今後、吉井川の地震・津波対策として、どのような対策が必要だと思いますか。(複数回答あり)

項目	回答者数	比率
堤防を高くする、川底を掘るなどにより、津波による被害を防ぐ	902	15%
水門を造り、津波の浸入を防ぐ	455	7%
地震により堤防が壊れないよう耐震対策を行う	828	14%
津波が堤防を越えても、壊れないよう堤防を強化する	750	12%
地震・津波時に迅速な情報提供を行う	1,132	19%
住民の防災に対する意識の向上を啓発する	924	15%
避難場所の確保など被害軽減に向けたまちづくりを行う	972	16%
今のままでよい	98	2%

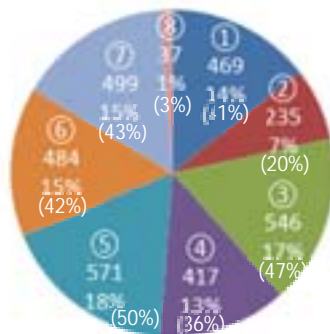
- ・ 「水門を造り、津波の浸入を防ぐ」が若干少ない以外は同程度の回答割合であるが、ハード対策(~)よりも「迅速な情報提供」、「避難場所の確保」、「意識啓発」といったソフト面の対策が必要との回答割合が高い。
- ・ 各項目毎の回答割合にほとんど差は見られない。



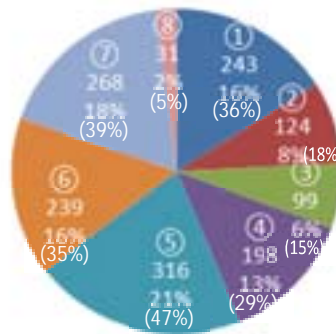
括弧書きは有効回答数 2,372 に対する比率

市町別内訳 (括弧書きは各市区町の有効回答数に対する比率)

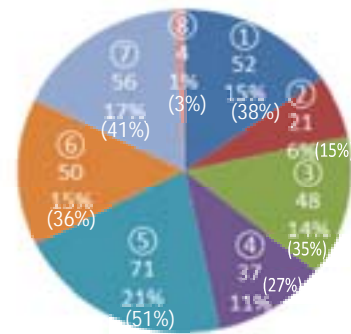
岡山市東区



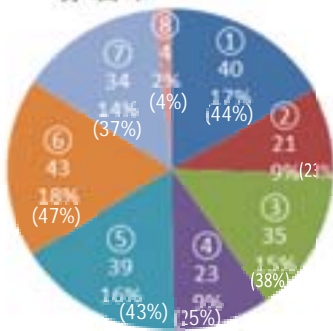
瀬戸内市



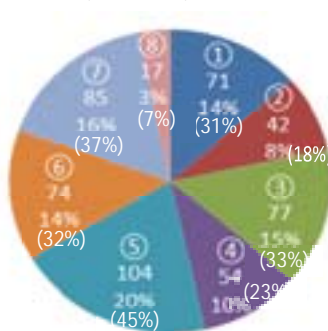
備前市



赤磐市



和気郡和気町



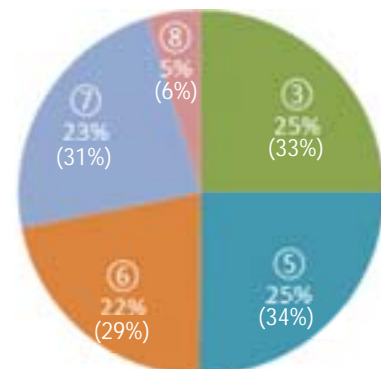
全体結果 (有効回答数に対する比率) との比較

- ・ は津波に対する対策であり、津波とは無関係の和気町では回答比率が低い。備前市では和気町ほど顕著な差は無い。赤磐市では の回答比率は逆に高い。
- ・ の対策の回答比率は岡山市では高く、瀬戸内市では低い。
- ・ 各市区町ともソフト面の対策を求める割合が高い傾向は変わらない。

【問 2-2】今後、金剛川の地震対策として、どのような対策が必要だと思いますか。
(複数回答あり)

項目	回答者数	比率
地震により堤防が壊れないよう耐震対策を行う	792	25%
地震時に迅速な情報提供を行う	798	25%
住民の防災に対する意識の向上を啓発する	690	22%
避難場所の確保など被害軽減に向けたまちづくりを行う	740	23%
今のままでよい	151	5%

- ・ ハード対策()が必要との回答は25%、(有効回答数2,372に対する割合は34%)である。
- ・ ソフト対策(~)については、各項目とも同程度の回答割合である。
- ・ 各項目とも有効回答数(2,372)に対する割合は約30%である。



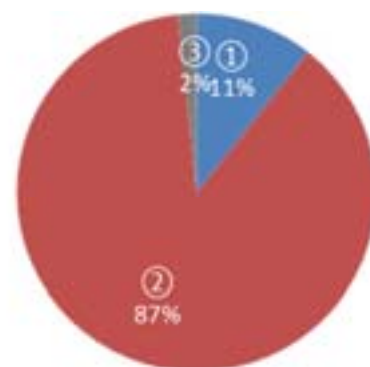
括弧書きは有効回答数2,372に対する比率

水利用について

【問 3-1】過去に吉井川・金剛川の水不足で困ったことがありますか。

項目	回答者数	比率
ある	253	11%
ない	2,079	87%
無回答	40	2%

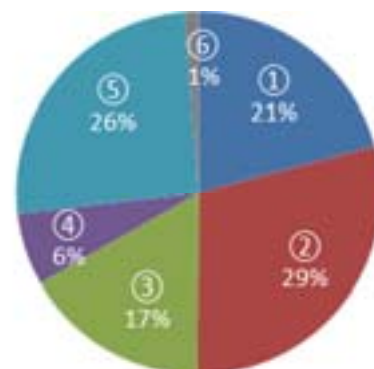
- ・ 87%の方が、過去に「水不足で困ったことがない」と回答している。



【問 3-2】現在の吉井川・金剛川の水不足対策（湯水対策）（ダムへの貯水、節水の呼びかけ等）は十分だと思いますか。

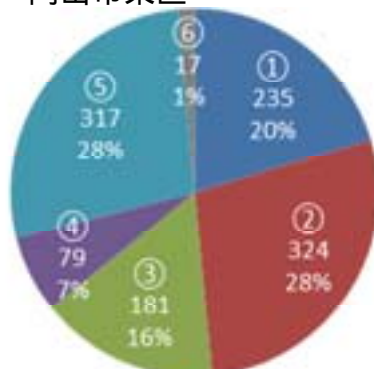
項目	回答者数	比率
思う	494	21%
やや思う	694	29%
あまり思わない	394	17%
思わない	153	6%
わからない	607	26%
無回答	30	1%

- ・「やや思う」も含め、湯水対策が十分であると思われる方の割合は50%である。
- ・「あまり思わない」「思わない」と回答された方の割合は合わせて23%である。
- ・「わからない」との回答が26%である。

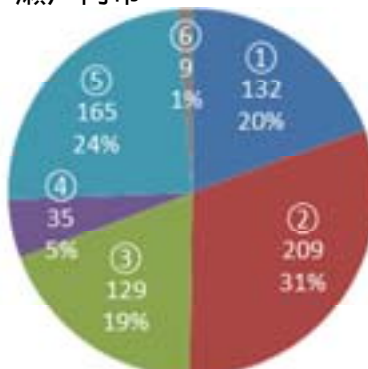


市町別内訳

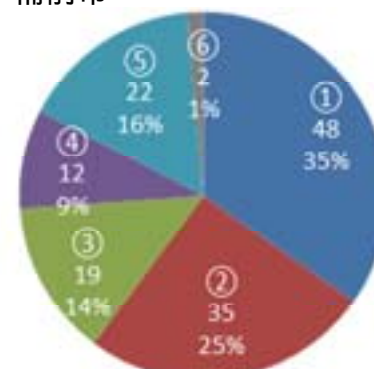
岡山市東区



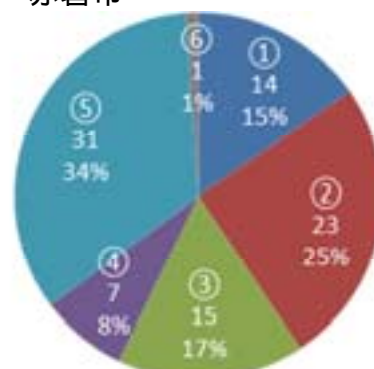
瀬戸内市



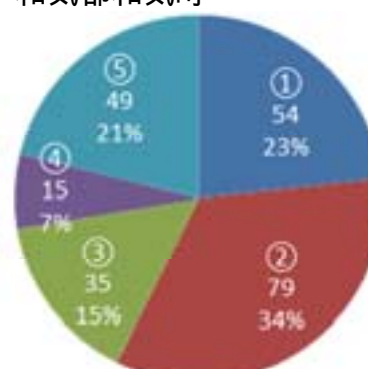
備前市



赤磐市



和気郡和気町



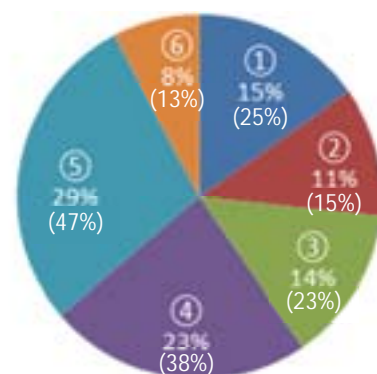
全体結果との比較

- ・「思う」との回答比率が備前市で高い。
- ・赤磐市では「思う」「やや思う」との回答比率が低い。

【問 3-3】現在の吉井川・金剛川の水不足対策（渇水対策）として、どのような対策が必要だと思いますか。（複数回答あり）

項目	回答者数	比率
ダム・堰により、水量を貯めておく	591	15%
農業用水の水利用の適正化を図る	446	11%
都市用水（上水道、工業用水）などの水利用の適正化を図る	535	14%
普段から水利用者が節水を心掛ける	904	23%
水不足時に迅速な水利用の調整ができるよう体制づくりを行う	1,110	29%
今のままでよい	300	8%

- ・ 「水不足時に迅速な水利用の調整ができるよう体制づくりをおこなう」、「普段から水利用者が節水を心がける」といったソフト面の対策が必要と考える方の割合が高く、有効回答数(2,372)に対する割合はそれぞれ47%、38%である。
- ・ 「ダム・堰により水量を貯めておく」の有効回答数(2,372)に対する割合は25%である。



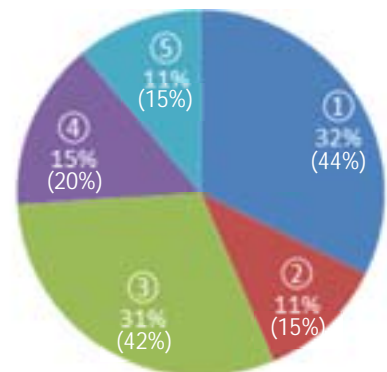
括弧書きは有効回答数 2,372 に対する比率

河川環境について

【問 4-1】現在の吉井川・金剛川の環境をどう思いますか。（複数回答あり）

項目	回答者数	比率
自然豊かな川	1,050	32%
水がきれいな川	363	11%
水が豊富な川	992	31%
風景が美しい川	481	15%
よい環境とは思わない	364	11%

- ・ 現在の河川環境は、「自然豊かな川」「水が豊富な川」と思われている方の割合が高く、有効回答数(2,372)に対する割合はそれぞれ44%、42%である。
- ・ 一方、15%（有効回答数 2,372 に対する割合）の方が「よい環境とは思わない」と回答している。

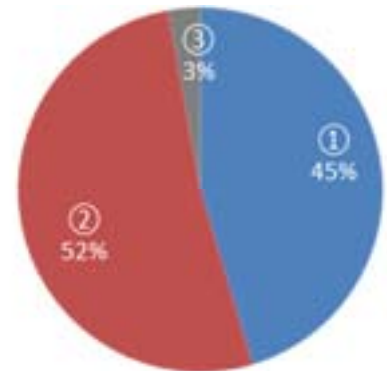


括弧書きは有効回答数 2,372 に対する比率

【問 4-2】あなたは吉井川・金剛川を日常生活の中で利用していますか。

項目	回答者数	比率
利用している	1,076	45%
利用していない	1,228	52%
無回答	68	3%

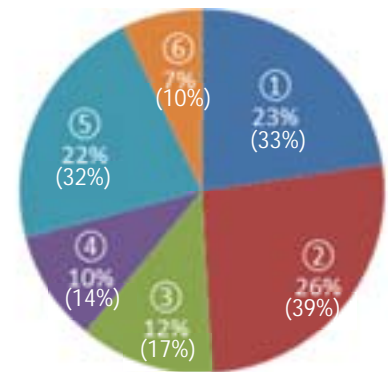
- ・ 日常生活で「利用している」と回答された方の割合は45%である。



【更問】問 4-2 で「 利用している」と答えられた方へ、それはどのような利用方法ですか。（複数回答あり）

項目	回答者数	比率
散歩・休憩	354	23%
水遊び、釣り・魚とり	415	26%
自然観察	186	12%
スポーツ	154	10%
通勤・通学や買い物の通路としての利用	345	22%
その他	111	7%

- ・ 利用方法は、「 水遊び、釣り・魚とり」、「散歩・休憩」、「通勤・通学等の通路」の順に多く、有効回答数（1,076）に対する割合はそれぞれ 39%、33%、32%である。

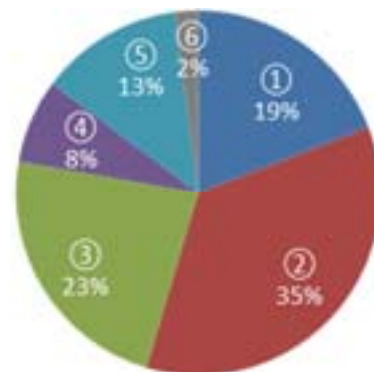


括弧書きは有効回答数 1,076 に対する比率

【問 4-3】現在の吉井川・金剛川は親しみやすく、レジャー・余暇空間としても河川利用しやすい川だと思いますか。

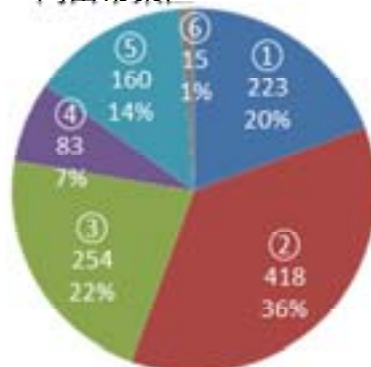
項目	回答者数	比率
そう思う	454	19%
ややそう思う	841	35%
あまり思わない	550	23%
そう思わない	177	8%
わからない	300	13%
無回答	50	2%

- ・「ややそう思う」も含め、利用しやすい川だと回答された方の割合は合わせて 54% である。
- ・「あまり思わない」、「そう思わない」と回答された方の割合は合わせて 31% である。
- ・「わからない」との回答が 13% である。

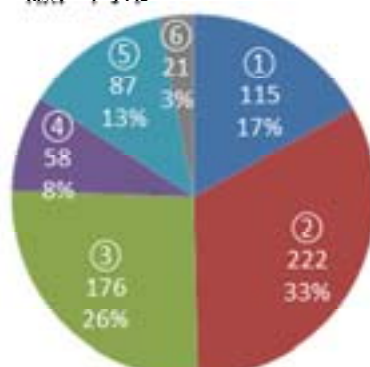


市町別内訳

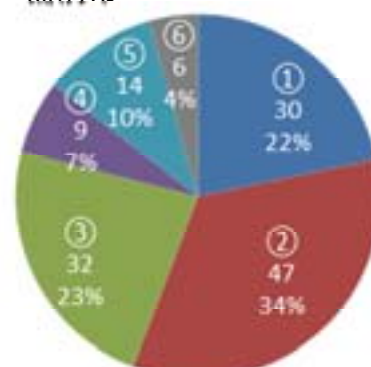
岡山市東区



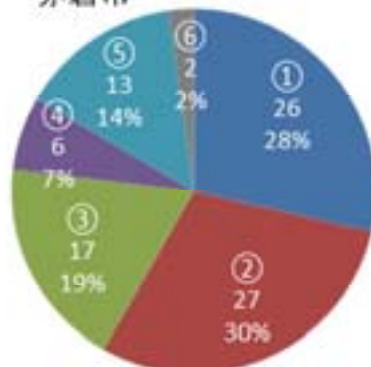
瀬戸内市



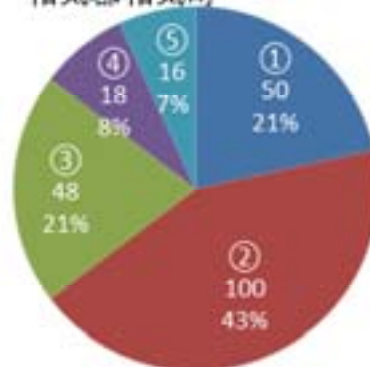
備前市



赤磐市



和気郡和気町



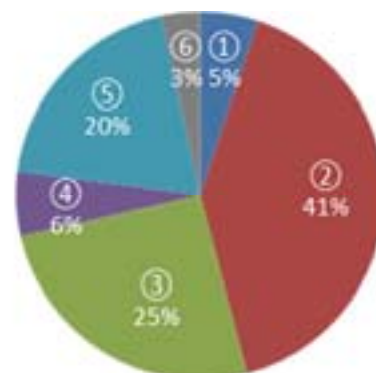
全体結果との比較

- ・赤磐市では「そう思う」との回答比率が、また和気町では「ややそう思う」との回答比率が高い。

【問 4-4】現在の吉井川・金剛川の河川環境に満足されていますか。

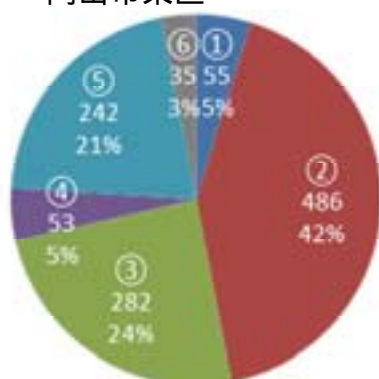
項目	回答者数	比率
大変満足している	121	5%
やや満足している	967	41%
あまり満足していない	605	25%
まったく満足していない	135	6%
わからない	464	20%
無回答	80	3%

- ・「やや満足している」も含め、河川環境に満足と回答された方の割合は46%である。
- ・「あまり満足していない」、「まったく満足していない」と回答された方の割合は合わせて31%である。
- ・「わからない」との回答が20%である。

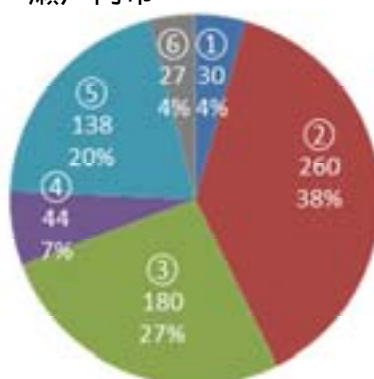


市町別内訳

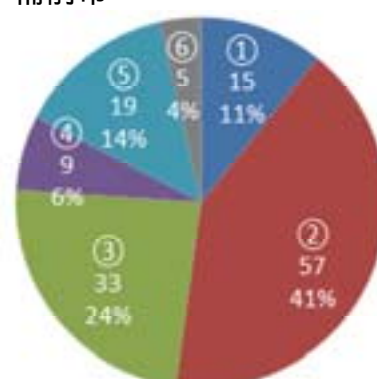
岡山市東区



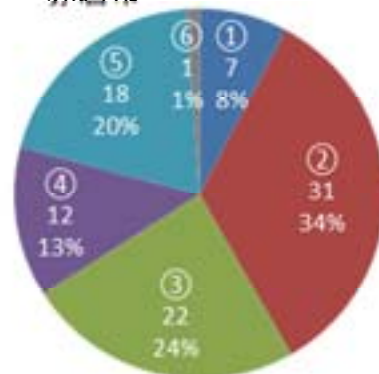
瀬戸内市



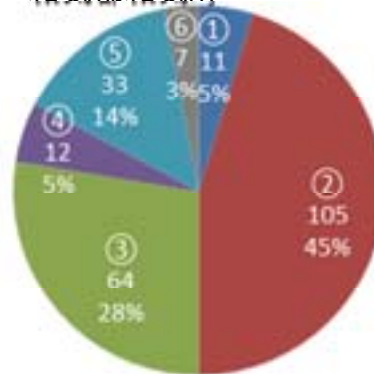
備前市



赤磐市



和气郡和气町



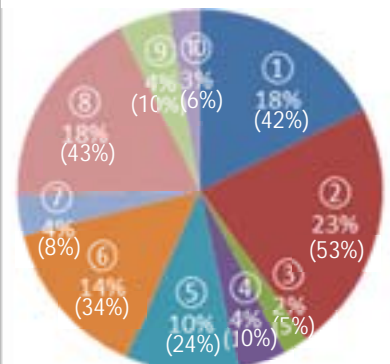
全体結果との比較

- ・備前市で「大変満足している」との回答比率が高いが、赤磐市で「まったく満足していない」の回答比率が高い。

【問 4-5】今後、吉井川をよりよくするためには、何が必要だと思いますか。（複数回答あり）

項目	回答者数	比率
魚や昆虫、鳥、植物が多く生息・生育できるようにする	985	18%
川の水をきれいにする	1,255	23%
川の水量を増やす	123	2%
瀬や淵があり、流れが変化に富んだ川にする	244	4%
周辺環境と調和した河川環境にする	558	10%
雑草を刈り、水辺に近づきやすくする	806	14%
コンクリート張りの堤防を少なくする	198	4%
散策・スポーツなどが楽しめるようにする	1,019	18%
歴史的構造物など、歴史・文化に配慮する	248	4%
今のままでよい	153	3%

- ・ 吉井川をよくするために必要なものは、「川の水をきれいにする」「散策・スポーツなどが楽しめるようにする」「魚や昆虫、鳥、植物が多く生息生育できるようにする」の順に多く、有効回答数（2,372）に対する割合はそれぞれ 53%、43%、42% である。
- ・ 「川の水量を増やす」「瀬や淵があり、流れが変化に富んだ川にする」「コンクリート張りの堤防を少なくする」「歴史的構造物への配慮」への回答割合は低く、5%以下である。

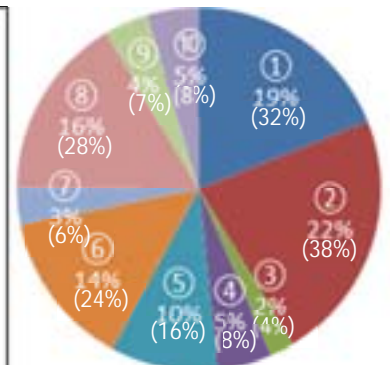


括弧書きは有効回答数
2,372 に対する比率

【問 4-5】今後、金剛川をよりよくするためには、何が必要だと思いますか。（複数回答あり）

項目	回答者数	比率
魚や昆虫、鳥、植物が多く生息・生育できるようにする	762	19%
川の水をきれいにする	902	22%
川の水量を増やす	88	2%
瀬や淵があり、流れが変化に富んだ川にする	195	5%
周辺環境と調和した河川環境にする	385	10%
雑草を刈り、水辺に近づきやすくする	559	14%
コンクリート張りの堤防を少なくする	135	3%
散策・スポーツなどが楽しめるようにする	660	16%
歴史的構造物など、歴史・文化に配慮する	158	4%
今のままでよい	185	5%

- ・ 金剛川をよくするために必要なものは、「川の水をきれいにする」「魚や昆虫、鳥、植物が多く生息・生育できるようにする」「散策・スポーツなどが楽しめるようにする」の順に多く、有効回答数（2,372）に対する割合はそれぞれ 38%、32%、28% である。
- ・ 「川の水量を増やす」「コンクリート張りの堤防を少なくする」「歴史的構造物への配慮」「瀬や淵があり、流れが変化・・・」への回答割合は低く、5%以下である。



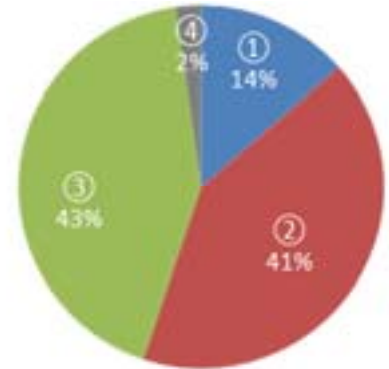
括弧書きは有効回答数
2,372 に対する比率

河川の管理について

【問 5-1】現在の吉井川・金剛川の管理は十分だと思いますか。

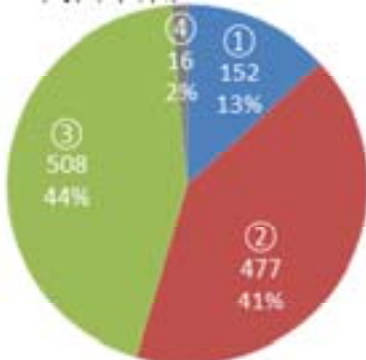
項目	回答者数	比率
十分である	322	14%
十分でない	986	41%
わからない	1,011	43%
無回答	53	2%

- ・ 河川の管理が「十分である」との回答が 14% であるのに対し、「十分でない」との回答は 41% である。
- ・ 「わからない」との回答が 43% である。

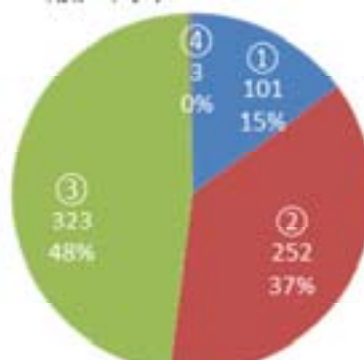


市町別内訳

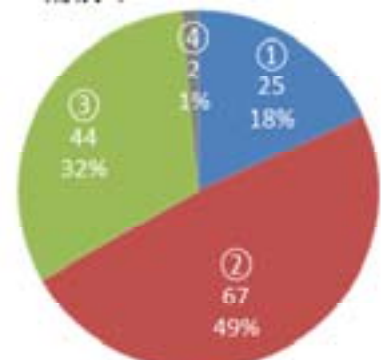
岡山市東区



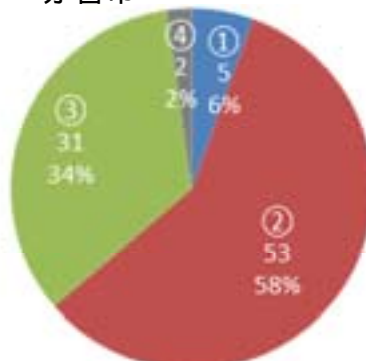
瀬戸内市



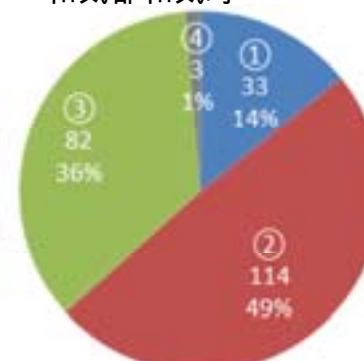
備前市



赤磐市



和気郡和気町



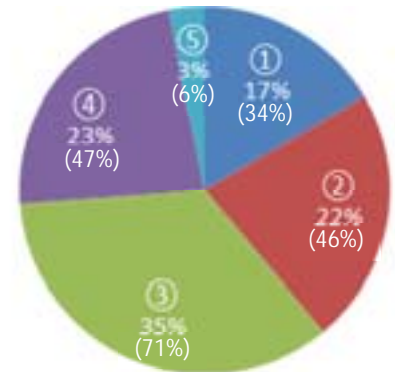
全体結果との比較

- ・ 備前市、赤磐市、和気町で 「十分ではない」の回答比率が高い。加えて赤磐市は 「十分である」の回答比率が低いが備前市は高い。
- ・ 「わからない」との回答比率は備前市、赤磐市、和気町で低い、それでも 3 人に 1 人が「わからない」と回答している。

【更問】問 5-1 で「 十分でない」と答えられた方へ、それはどのような項目ですか。（複数回答あり）

項目	回答者数	比率
川底にたまっている土砂を取り除く	333	17%
川の中に茂っている樹木を取り除く	453	22%
河川敷や河川堤防沿いの雑草・ゴミを取り除く	703	35%
河川パトロール（ゴミ捨て、不法係留など）を強化する	466	23%
その他	63	3%

- ・ 「 河川敷や河川堤防沿いの雑草・ゴミを取り除く」との回答が一番多く、有効回答数（ 986 ）に対する割合は 71% である。

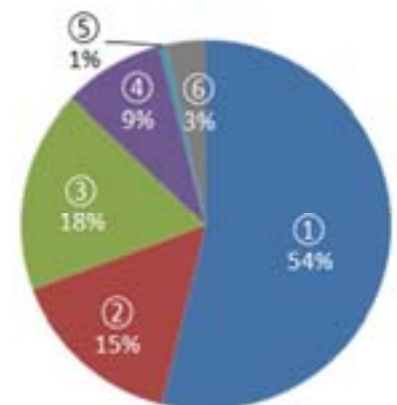


括弧書きは有効回答数 986 に対する比率

【問 5-2】危機管理への取り組みとして、どのような対策が必要だと思いますか。

項目	回答者数	比率
洪水時に迅速な情報提供を行う	1,277	54%
住民の防災に対する意識の向上を啓発する	366	15%
災害時に迅速な水防活動ができるような体制づくりを行う	422	18%
洪水・高潮ハザードマップの周知活動を行う	210	9%
その他	14	1%
無回答	83	3%

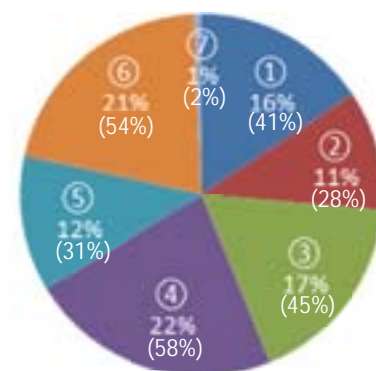
- ・ 危機管理への取り組みとして最も必要とされているのは「 洪水時に迅速な情報提供を行う」で、54%と半数以上を占めている。



【問 5-3】洪水・高潮などの情報提供の取り組みについて、どのような情報が必要だと思いますか。（複数回答あり）

項目	回答者数	比率
現在の河川の水位	963	16%
現在の河川の映像	655	11%
今後の河川水位の予測	1,078	17%
地域の浸水状況（どこがどの程度浸水しているか）	1,381	22%
洪水・高潮ハザードマップ	745	12%
避難勧告の情報	1,286	21%
その他	39	1%

- ・ 各項目とも回答数は多い中、「地域の浸水状況」や「避難勧告の情報」といった身近に迫る危険に係る情報を求める割合が特に高い。



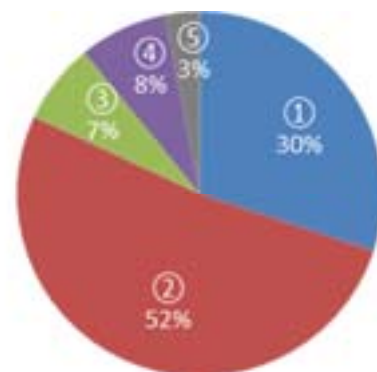
括弧書きは有効回答数 2,372 に対する比率

河川の整備について

【問 6】洪水や高潮対策に対して安全性を確保するためには、今の環境を改変しても良いと思いますか。

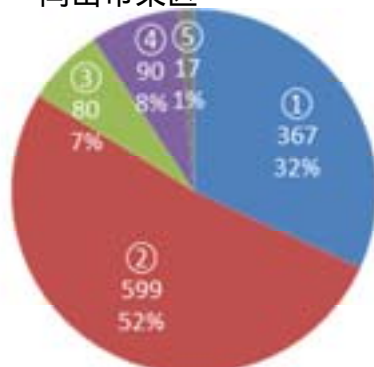
項目	回答者数	比率
安全性を向上させるためには環境改変はやむをえない	713	30%
環境も大事だが多少の改変はやむをえない	1,231	52%
環境は大事なので改変すべきではない	170	7%
わからない	186	8%
無回答	72	3%

- ・ 「環境改変はやむをえない」、「多少の改変はやむをえない」を合わせると 82%であり、洪水・高潮対策による安全性確保を求めている方がとても多い。

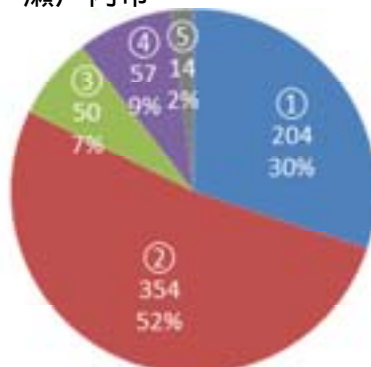


市町別内訳

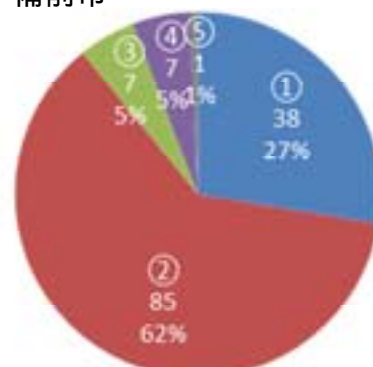
岡山市東区



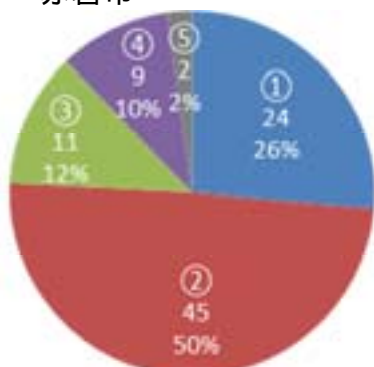
瀬戸内市



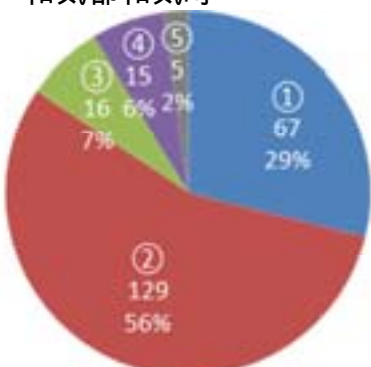
備前市



赤磐市



和気郡和気町



全体結果との比較

- ・ 「多少の改変はやむを得ない」の回答比率が備前市で高い。
- ・ 「改変すべきではない」の回答比率が赤磐市で高い。

2) 自由意見

自由意見を「洪水・高潮、地震・津波、水利用、河川の環境、河川の管理、その他」で分類し、さらに、意見の多い項目として、大分類の中を再分類した。

全体

項目	回答者数	比率
洪水・高潮	145	24%
地震・津波	29	5%
利水	14	2%
河川の環境	143	24%
河川の管理	128	21%
その他	144	24%

洪水・高潮 内訳

項目	回答者数	比率
堤防・護岸整備	8	6%
ダムの有効利用	6	4%
高潮対策	2	1%
堤防強化	14	10%
内水対策	11	8%
ソフト対策	52	36%
治水全般	52	36%

地震・津波 内訳

項目	回答者数	比率
堤防・護岸整備	2	7%
堤防の耐震化	2	7%
堤防強化	3	10%
ソフト対策	8	28%
地震・津波全般	14	48%

水利用 内訳

項目	回答者数	比率
ダムの有効利用	2	14%
利水全般	12	86%

河川の環境

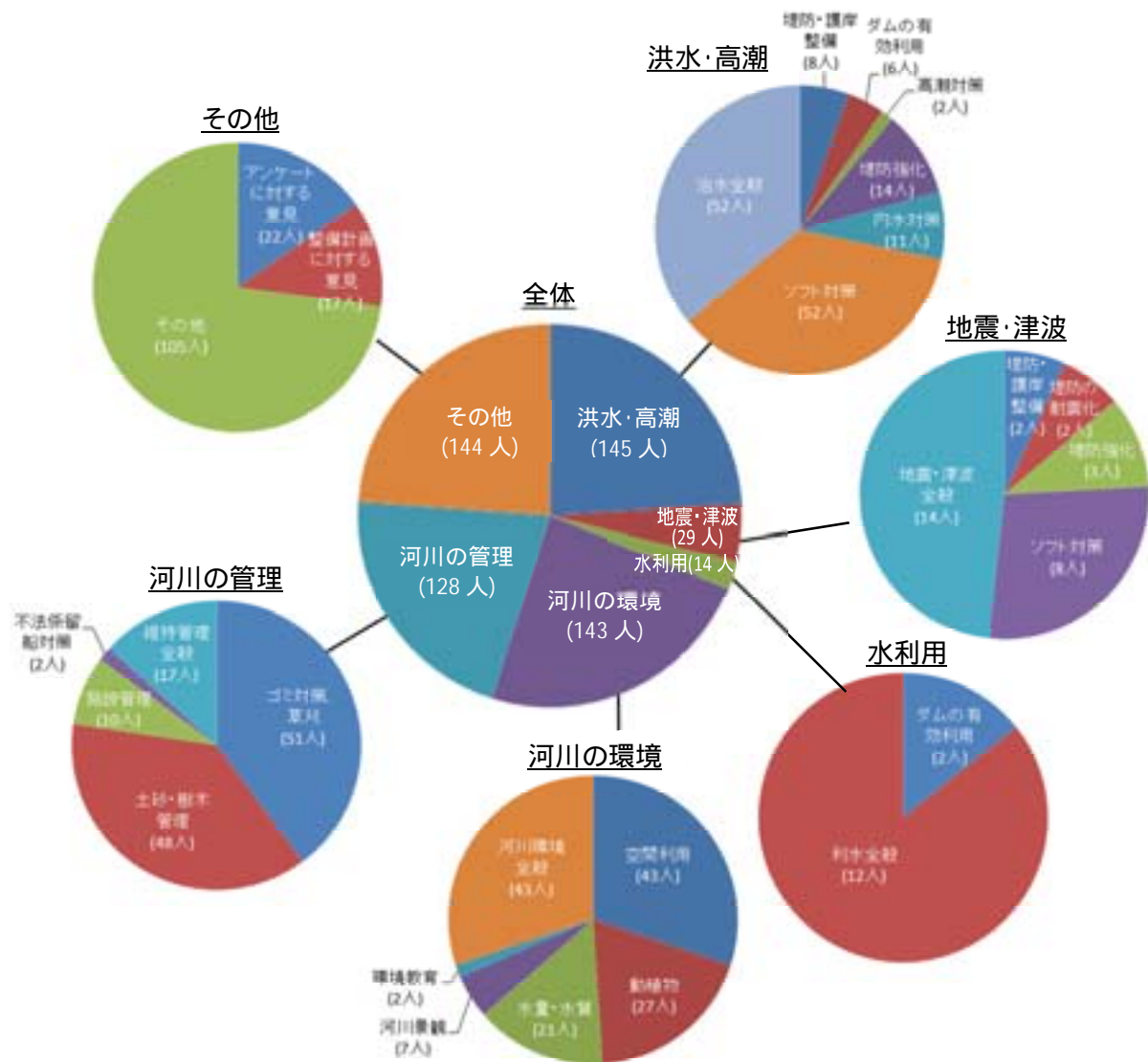
項目	回答者数	比率
空間利用	43	30%
動植物	27	19%
水量・水質	21	15%
河川景観	7	5%
環境教育	2	1%
河川環境全般	43	30%

河川の管理 内訳

項目	回答者数	比率
ゴミ対策、草刈	51	40%
土砂・樹木管理	48	37%
施設管理	10	8%
不法係留船対策	2	2%
維持管理全般	17	13%

その他 内訳

項目	回答者数	比率
アンケートに対する意見	22	15%
整備計画に対する意見	17	12%
その他	105	73%



- ・ 洪水・高潮、河川・環境、河川の管理に関する意見が多く、地震・津波、利水に関する意見が少ない。
- ・ 洪水・高潮、地震・津波に関する意見の中では、ソフト対策や治水全般についての意見が多い。
- ・ 河川・環境に関する意見の中では空間利用に関する意見、河川の管理に関する意見の中ではゴミ対策・草刈、土砂・樹木管理に関する意見が多い。
- ・ 全体的には、ハード対策に関する意見よりも、ソフト対策や河川・環境や維持管理に関する意見が多い。